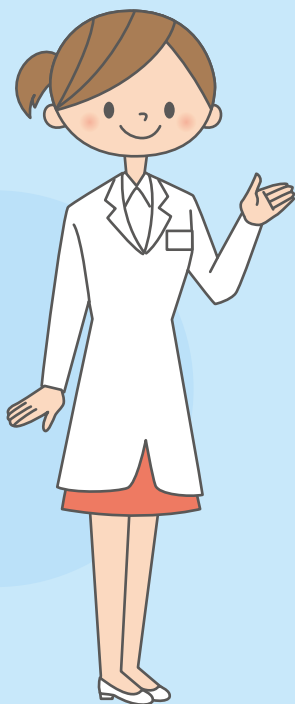


# メトホルミン塩酸塩錠 MT「DSEP」 を服用される 患者さんにご家族の方へ



このしおりの内容は、  
患者さんご自身のみならず、  
家族やまわりの方にも  
お知らせください。

# メトホルミン塩酸塩錠MT「DSEP」

を服用される患者さんにご家族の方へ

このお薬は、血糖値を下げるお薬です。



\*錠剤は実物大です。

## 服用方法について

- 服用量は、患者さんの症状などにあわせて医師が決めます。
- 薬は通常、1日2～3回、食直前または食後に服用します。
- 薬の量や飲み方は、医師または薬剤師の指導を正しく守ってください。
- 食事をとれなかった時の飲み方は、医師または薬剤師に相談してください。
- **2回分を一度に飲まないでください。**

飲み忘れた場合は、気がついたときに1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は1回とばして次の服用時間に1回分を飲んでください。

## 服用中に注意していただきたいこと

### ① 乳酸アシドーシス→裏面の「乳酸アシドーシスをおこさないために」もご参照ください。

乳酸アシドーシスとは、血液中に乳酸が増えすぎて血液が酸性になった状態です。まれな副作用ですが、治療が必要な状態です。特に、腎臓や肝臓、心臓に病気がある人、高齢者で起きやすいとされています。

#### 〈症状〉

吐き気、嘔吐(おうと)などの胃腸症状、倦怠感、呼吸が苦しい、筋肉痛など

**症状がひどいとき、または持続するときは、メトホルミン塩酸塩錠MT「DSEP」の服用をいったん中止し、すぐに医師にご連絡ください。**



### ② 低血糖→裏面の「低血糖の症状がおこったときの対処方法」もご参照ください。

低血糖とは、血液中の糖分が少なくなりすぎた状態です。進行すると意識を失うこともあるため、すぐに糖分をとるなどの対策が必要です。

#### 〈症状〉

脱力感、強い空腹感、手足のふるえ、頭痛、冷や汗、動悸など



(裏面も必ずお読みください)

## 乳酸アシドーシスをおこさないために

- 腎臓や肝臓、心臓、肺に病気のある人、透析を受けている人、乳酸アシドーシスをおこしたことがある人は医師に申し出てください。
- 脱水状態が疑われる場合(下痢、嘔吐(おうと)、発熱、食事が十分にとれないなど)には、本剤の服用をいったん中止し、医師にご相談ください。
- **脱水を予防するため、適度に水分をとるように心がけてください。**
- **お酒を飲みすぎないようにしてください。**
- 重症感染症、手術の前後または重篤な外傷の患者さんは本剤を服用することができません。
- 次のときには、本剤を服用していることを医師または薬剤師に申し出てください。
  - ヨード造影剤を用いた検査や治療を受けるとき
  - 手術を受けるとき
  - 他の医師から何か薬を処方してもらったときや、薬局で他の薬を購入するとき

### 《定期検査について》

本剤を服用しているときは、定期的に腎機能や肝機能の検査が行われます。腎臓に病気のある人、高齢の人では検査の回数が増えることがあります。

## 低血糖の症状がおこったときの対処方法

- **すぐに糖分(ブドウ糖、砂糖を含む食品)を補給し、安静にしてください。**  
日ごろから、常に糖分を携帯して、緊急時に備えましょう。  
※<sup>アルファ</sup>α-グルコシダーゼ阻害剤と呼ばれる薬を飲んでいる場合は、  
**必ずブドウ糖**をとってください。

**症状が改善しない場合は、すぐに医師に連絡してください。**

**高所作業や自動車の運転等、危険を伴う作業に従事しているときに低血糖があらわれると事故につながる可能性があります。特に注意してください。**



連絡先(医療機関名)



Daiichi-Sankyo

第一三共エスファ株式会社

RMP

EPMETIP01301-1

2019年6月作成

製造販売元

**第一三共エスファ株式会社**

東京都中央区日本橋本町3-5-1



Daiichi-Sankyo

販売提携

**第一三共株式会社**

東京都中央区日本橋本町3-5-1

EPMETIP01301-1

2019年6月作成